

Date: 19-Sep to 22-Sep-2024

Location: Cary, North Carolina, United States

Player : 白井一夫 Kazuo Shirai

皆様のご協力のお陰で、コロナ以降初めてのアメリカ遠征が実現しました。ありがとうございます。記憶では、8年ぶりのアメリカになります。

20時間以上に及ぶ飛行機の旅、以前とは違い、かなり体に負担がかかりました。

今、日本は50歳以上のクラスでは、世界と戦う力があると思います。出来るだけ若いうちに、挑戦することをお勧めします。

今回は、以前、辰巳に来ていたトミーさん（アメリカ在住の友人）に大変お世話になり、快適な時間を過ごすことが出来ました。

今回の遠征で感じたのは、コースに対する違和感でした。毎年遠征している時は、日本、アメリカの違いは無く、単にコースの違いくらいに捉えてラウンドしていましたが、今回はアメリカ感が強く、振出しに戻ってしまいました。

今回のコースは、ほとんどが林間コースで、かなりタイトにOBが配置されていました。昨年のUSマスタースの動画を見ても同様に感じました。難しくコース設定をするのが流行りになっているのかも知れません。

今までも、このようなコースはありましたが、今回、ノースキャロライナのコースを15コース程回って見ましたが、USDGCの行われたシャーロットのコースと隣接する新設コース以外、オープンなイメージが残るコースは無かったような気がしました。

USマスタースの大会は、練習日が一日雨で使えない状態でした。日本選手権も大雨と聞いて、世界的な気象異常を考えさせられました。

私としては、澤田さんに同行して頂いたことで言葉のストレスも無く、トミーさんにキャディーをお願いしたことで体の負担もほとんどなく、コンディションは良かったのですが、実力の無さを思い知らされた大会となりました。

決勝に残る白熱した駆け引きの記事を書きたかったのですが、次回、乞うご期待と言う事になりました。

勝負所を見つける間もなく終わってしまった大会でしたが、続けて遠征したところと何が違うのか？あえて言えば、今までは、予選ラウンドを5ラウンド位していたものが、今回は、わずか予選3ラウンドだったことでしょうか。

全てティータイムも、現状の順位がリアルにわかるライブスコアも、アメリカでは初めての経験でした。スマホで大雨避難情報が鳴ったのにも驚きました。要は、慣れ不足の一言です。アメリカ初挑戦の時も、レイティングで1000を超えるまでには3~4年を費やしています。

今後は、コースの方向性に合わせた練習も必要になりそうですが、今までの練習を、よりシビアに見直すことと、トラブルに対応出来る多彩な技術の習得が不可欠になってくることも大会から教わ

った形となりました。

でも、負けたままでは引き下がらないのが、私のモットー。気が向いたら今後の行動をチェックして見て下さい。(今回の成績 MPO+70・5位タイ)

ところで、一緒に遠征した澤田さん、今回の遠征で一皮剥けた様な感じがします。澤田さんからの遠征報告も楽しみにお待ちしております。

白井一夫 #6075



コース風景



コース風景



コース風景



Juliana Korver 選手と



Barry Schultz 選手と



Elaine King 選手と



チャンピオン Scott Conway 選手と



宿泊地



夜練風景



プレイヤーズパーティー会場